

「フッ化物洗口」で虫歯予防!



専用の音楽CDに合わせて「フッ化物洗口」を始める子どもたち (花岡小学校4年生教室)

一度虫歯になると、二度と元の健康な歯には戻らないとされています。虫歯は生えて間もない時期になりやすく、小・中学生の時期の予防が大切です。ここでは、平成29年度から市教育委員会が取り組んでいる虫歯予防対策を紹介します。 [市学校教育課](http://www.city-hanaga.jp) TEL.0994-31-1137

取り組む理由はコレ

2

虫歯予防効果が
高く安全!

週1回の「フッ化物洗口」で、虫歯になりにくくなるのは、ありがたいこと。1人ではなく、みんなで取り組むのも、意識付けには効果的だと思います。



お子さんが高隈小学校に通う
うちりえ 内理恵さん

取り組む理由はコレ

1

虫歯の数と
治療率の改善!

初めころは、においや味が苦手だったけど、すぐに慣れました。虫歯にならず、本当にやって良かったです!



花岡小学校6年 新村 一華さん

子どもたちの虫歯

国や県の調査によれば、県内の小・中学生の虫歯の状況は、全国と比較して非常に悪い傾向にあります。市内も同様の状況がみられ、虫歯の数や治療率もなかなか改善されていません。

さらなる予防対策へ

日本歯科医師会や鹿児島県歯科医師会などによると、虫歯予防は、①歯磨き、②糖分(シュガー)コントロール、③フッ化物の利用(フッ化物洗口など)の3つを合わせたものが基本であるとされています。これまで学校の歯科指導で

予防効果が高く安全

「フッ化物洗口」は、世界保健機関(WHO)など、世界の150を超える医学・歯学・保健の専門機関、厚生労働省、日本口腔衛生学会、日本歯科医師会等が一致して、科学的・学術的に虫歯予防効果が高く安全であるとされています。

それは、新潟県や佐賀県などの先進地の数十年にわたる実績からも認識されています。

広がる「フッ化物洗口」

日本では、昭和45年に新潟県の小学校で初めて「フッ化物洗

は、①と②の指導を徹底してきましたが、市の現状を踏まえ、市教育委員会は、鹿児島市歯科医師会、鹿児島市薬剤師会、鹿児島保健所等と連携し、平成29年度から3小学校で「フッ化物洗口」の導入を開始しました。平成31年度までに市内のすべての小学校で導入する予定です。

「フッ化物洗口」って何?

「フッ化物洗口」とは、フッ化物水溶液を用いて、週1回1分間程度、「ブクブクうがい」を行うことで、虫歯を予防する方法です。歯の表面からフッ化物が取り込まれ、抵抗力の強い歯が作られます。

口」が実施されてから、全国に広がり、平成28年3月現在では、全国の約1万2千の幼稚園・保育園・小中学校等の約127万人の子どもたちが行っています。

県内でも多くの幼稚園・保育園で実施されており、近隣では東串良町・錦江町・南大隅町・大崎町のすべての幼稚園・保育園で行われています。

また、小・中学校でも、薩摩川内市や長島町の全小・中学校、さつま町の全小学校、霧島市の一部の小学校で実施されており、「フッ化物洗口」は、今後さらに広がるものと思われます。

「フッ化物洗口」 実施までの流れ

「フッ化物洗口」の実施に当たっては、保護者の皆さんや子どもたちが不安を抱くことがないよう、次のような手順で実施しています。

1 保護者等への説明

厚生労働省の「フッ化物洗口ガイドライン」に基づき、保護者等説明会で、鹿児島市歯科医師会、鹿児島市薬剤師会、鹿児島保健所等の同席のもと、市教育委員会が丁寧に説明します。



2 全保護者に実施希望調査を実施

「フッ化物洗口」は、希望する子どもたちを対象に実施します。このため、事前に全保護者向けに実施希望調査を実施します。

なお、この取り組みは、学校保健活動の一環として行うことから、希望しない子どもたちも、原則として、実施する子どもたちと一緒に水うがいを行うこととしています。

3 各学校での準備

各学校では、実施手順を確認し、薬剤や器材等を準備します。また、子どもたちは、水で「ブクブクうがい」の練習を行います。

4 「フッ化物洗口」開始

各学校で決めた曜日や時間帯に、週1回、1分間程度、フッ化物水溶液を用いて「ブクブクうがい」を行います。



※「ブクブクうがい」とは、口を閉じて、素早くほおを膨らませたり戻したりする動作のこと

平成31年度までに全小学校で「フッ化物洗口」を導入します

開始年度	小学校
平成29年度	鹿屋小、花岡小、高隈小
平成30年度	祓川小、東原小、笠野原小、寿小、寿北小、田崎小、西原小、西原台小、高須小、野里小、大始良小、南小、西俣小、大黒小
平成31年度	輝北小、串良小、細山田小、上小原小、吾平小、鶴峰小、下名小